

「リモートワークで運動不足がマズイんです！」

やつてみよう！筋膜リース

毎日、肩がこる、腰が痛い。ゴルフでは飛ばない、疲れる。思い当たる方は、ぜひ筋膜リースを試してみて。これがもう、体全身に、ゴルフに効くんです！

体中を「ゴロゴロ」で動けるボディに

筋膜リースというと、なんと

なく背中をゴロゴロとほぐすイメージはないだろうか。しかし、小林先生いわく「筋膜は頭のてっぺんから足のつま先まで全身にあります。主に表層に近い筋肉や筋膜をほぐすことを筋膜リースといふんです。これによつて、痛みの軽減や筋出力を上げたりすることにつながるんです」。筋出力が上がることは筋肉が動きやすくなるといふこと。ほぐすことで、そんなメ

リットが？

「全身タイツをイメージするとわかりやすいですよ。もし、タイツのサイズが体に合わずすごく小さかつたり、まったくストレッチ性のない素材でパツパツだったとしたら、どうでしょう。体がスムーズに動くでしょうか？」このタイ

ツを体に合つたしなやかな素材に変えるだけで、動きやすさが変わります。全身タイツの素材を柔らかくほぐすイメージ……これはわ

かりやさいたとえ！

筋膜リースはリモートワークやステイホームの影響で運動不足が続き体に不調が出た人、ゴルフのパフォーマンスアップを目指す人にはもれなくおすすめのテクニックなのだ。

詳しいメニューは次頁で紹介するが、どれも簡単。市販の、いわゆる「ストレッチ用ボール」を使⽤し、体をゴロゴロ動かすだけ。ボールは量販店やバラエティショッ



教えてくれた人

トータルゴルフフィットネス
(東京都新宿区四谷)
ゴルフパーソナルトレーナー
小林和仁氏



長年、日本スキー界の第一人者として活躍する一方、オフトレーニングの一環としてのゴルフも30年以上の経験がある。「柔軟でスマートな体の動き」指導の超プロフェッショナルで、特にシニアゴルファーへの指導に定評あり

そもそも筋膜って何……？／

イメージは“全身タイツ”です



キツーイ全身タイツを着てゴルフができる？ そもそも歩ける？ それと同じことが体で起きたら怖い！

お尻の筋肉が使えないければボールに力が伝わらない

ダスティン・ジョンソン
D・Jのこの柔軟性はお手本だ！

肩がイテテではこのトップはとれない



普、最近では雑誌の付録になつているものもあり、手に入りやすい。使いがあるので、たとえばボーラーで代用したり毛布を丸めて手作りしたりと考えるより市販のものが良さそうだ。値段は、1,000円台のものから、さまざま機能が搭載された数万円のものもあるが、基本は長さ1メートルほど、直径15センチほどの円柱形のものだ。

小林先生は「朝でも夜でも、いつやつても構いませんが、ゴルファーの皆さんにオススメしたいのはラウンドした日の夜です。これをやると翌日の疲れにグッと差が出ます」とのこと。基本的に仰向け、うつ伏せなど、寝て行うもので、テレビを見ながらできるものもあり、ちょっと疲れたラウンドの後にもぴったり。しかも、次頁で紹介するすべてのメニューをこなしても10分ほどだ。

「運動不足の方は、筋肉が固まってしまい動きが悪くなる。うまく動かせないから動きたくないくなる。この悪循環に入つてはいけません」。人生100年時代、ずっと元気に歩きたい。ラウンドしたい！ 「ならば、いま『投資』すべきは体です」（小林先生）

果ごもりを逆手にとつて、ゴルフの上達、動ける体、手に入れちゃおうじゃありませんか！

さあ、実際にやつてみよう！

上半身編その②

B

背中（広背筋）

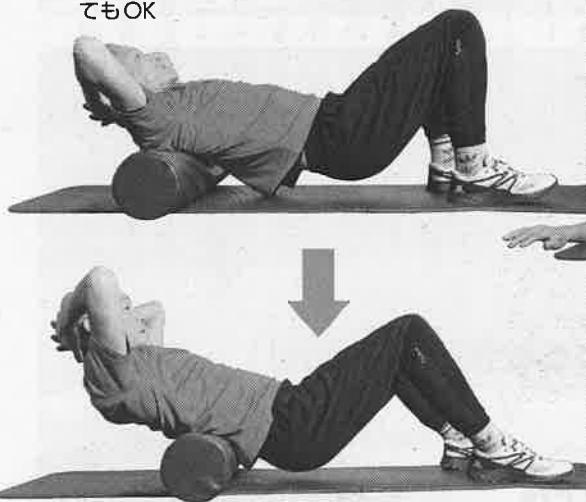


腰（脊柱起立筋）

メリット

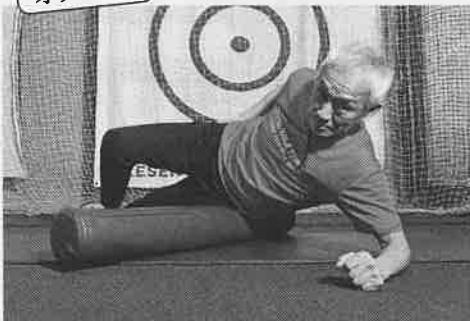
- 大きなトップがとれる
- 腰痛対策

ポールを背中の上方にセットし、肩甲骨から背中の真ん中辺りまで移動させる。ゆっくり10往復する。お尻は浮かせ、背中が丸まったりそり過ぎたりしないようにする。オプションとして体をねじってやってOK



オプション

体をねじると体側に効く。
左右ともやろう



ストレッチ用ポールは長さ約1メートルとかさばる感じがするが、広い部分をカバーするので便利。小さいものは持ち運びやすいのが利点。小林先生は振動するボールタイプ（右下）もオススメという。テニスボールやゴルフボールなど、小さなもので代用しないほうが無難。超進化版としてピンポイントに刺激できるドリルタイプ（右上）も

まずは上半身からスタート

A

肩周り（肩甲骨周辺）

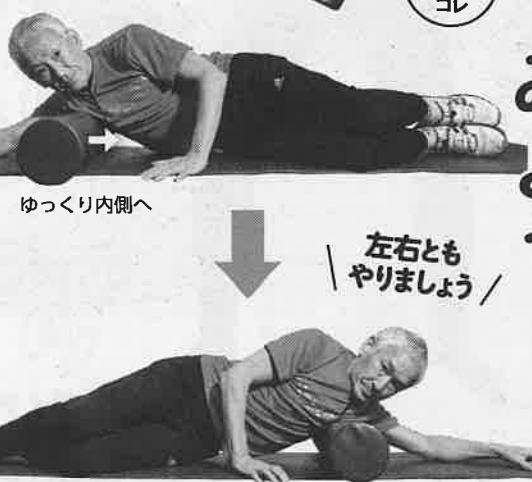


背中（広背筋）

メリット

- 大きなトップがとれる
- 肩こり対策

ストレッチ用ポールをわきの下にセットし、10センチくらい下に移動させる。ゆっくり10往復、左右ともやる。下のオプションのように3方向（前方、真ん中、後方）やるのがベター



使ったのはコレ

真ん中

前方

後方

オプション

3方向でやろう！

ポールにくっつけるわきの位置を変えることで肩周りを広くほぐせる

注意点

- 運動中はつい呼吸を止めてしまいがち。スー、ハーと深い呼吸を意識しながらやる
- “イタ気持ちいい”ぐらいがポイント。無理して回数を増やすと筋肉を傷める恐れがあるので、やり過ぎには注意

下半身編その③

E ふくらはぎ (ひらめ筋・ひふく筋) + すね (前脛骨筋)

メリット
●飛距離アップ
●疲労軽減



ポールをひざの裏にセットし、足首まで動かす。ゆっくり10往復する。その際、お尻が床につかないように気をつける



うつ伏せになり、ポールをひざ下にセットし足首まで動かす。片足ずつやってもOK。両足ともゆっくり10往復する

より効率を
求める人に
おススメ

超微振動するタイプ
で、ストレッチ効率
が高い。ふくらはぎ、
お尻など、このペー
ジで紹介したすべて
の箇所に対応する



ドクターエア
ストレッチロールS
1万9352円

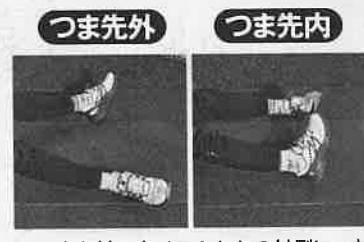
下半身編その②

D 太もも (大腿三頭筋、大腿四頭筋)

メリット
●飛距離アップ
●腰痛対策



ポールをお尻の下方にセットし、ひざ裏あたりまで移動させる。ゆっくり10往復する。つま先を開いたり閉じたりしてバリエーションをつけてもいい



つま先を外に向けるとももの外側に、内に向けるとももの内側に効く

うつ伏せ
でも
やろう



腕をつきポールを股関節の下にセット。ひざあたりまで移動させる。ゆっくり10往復

お尻はゴルフに
とっても大事
ですからね

下半身編スタート

C お尻 (大殿筋、中殿筋)

メリット
●飛距離アップ
●腰痛対策

後ろに腕をつきポールをお尻の真ん中辺りにセット。足の付け根辺りまで移動させる。ゆっくり10往復する



小林先生の
愛用グッズは
こちら

